

## 鬼首地熱発電所 環境監視結果（2024年度）

「鬼首地熱発電所設備更新計画 環境影響評価書」に基づき実施した2024年度の環境監視結果は以下の通りです。

- 大気環境（硫化水素測定結果）  
発電所構内6地点における硫化水素の測定結果に顕著な変動はなく、大気環境への影響はないことが確認されています。
- 水環境（温泉：温度、湧出量、泉質）  
周辺温泉3地点における温度、湧出量、泉質（水素イオン濃度、電気伝導度）において、顕著な変化は認められませんでした。
- 動物（重要な種及び注目すべき生息地：クマタカの生息・繁殖）  
令和6年1月～7月の営巣期における定点観察調査において、忌避行動等の発電所運転の影響は確認されておらず、計12回の飛翔を観察し、2つがいの生息を確認しました。いずれのつがいも発電所近隣の斜面に営巣していないことが確認されています。
- 景観（景観資源の状況）  
景観資源である片山地獄およびその周辺において定点写真撮影を実施し、景観上の変化は認められませんでした。
- 産業廃棄物  
発電所運転に伴い発生した産業廃棄物は金属くず、廃プラスチック類等であり、総量6トンのうち1トンを有効利用、5トンを適切に処分しました。

以上